

## 何を目指す

### 岸田政権のデジタル化

岸田政権のデジタル政策について、自治体情報政策研究所の黒田充代表に聞くもあした。

自治体情報政策研究所代表

### 黒田充さんに聞く



政府がデジタル田園

都市国家構想実現会議  
やデジタル臨時行政調

査会、さるじはがシタ  
ル計画など流れてい  
るデジタル社会推進会

議で議論して進めよう  
としていることのほと  
んど、企業が個人情  
報を利用しやすいする  
ための環境整備です。 濟的な回復と地位の回  
復を

上を実現しようとして

います。まさに安倍・

岸政権が行つてきた新

一續です。

自民主義改革の流れと

の省庁だけではなく地方

自治体や、医療・教育

「デジマーク模倣

政府は、「デジマーク  
のデジタル化を模倣し  
「デジタル法制局」を設立するといいます

が、福社國家であるデ  
ジタルは基本的人権  
を尊重する人権意識をま  
た、社会保障を

充実させるために個人  
情報のデジタル化をし  
ようとしてきました。

非常に恐ろしい

波堤となる必要があり  
ます。だから、自治体  
は、大企業が個人  
情報を使ってもつける  
「デジタル化」そのものが目  
的化しています。

政府が進める「デジタ  
ル化」は、大企業が個人  
情報を使ってもつける  
「デジタル化」そのものが目  
的化しています。

常に恐ろしいことで

たデジタル市は、金で

す。

今後求められるのは

一續です。

自治体のデジタル化が日  
本をどのように導くかを知  
る必要があります。ま

た、地方議員のみなさ

門、民間事業者に対し  
ても予算配分や勧告権

で口をきかむことがで

きる強力な権限を持つ

ています。そのため今

後、デジタル市が国民  
監視と政府の中央権

化を強力に進める道貫

を尊重する可能性がありま  
す。

したデジタル改革関連  
法などによって自治体

の個人情報保護の仕組

みが後退しないようチ  
ェックし、自治体が住  
民の個人情報を企業に  
明け渡さないよう、防

止めているか実態を把

握し、連帯の輪を広げ  
ることも大切です。

# 狙い知り連帯の輪を

(おわり)